

NY マーケットレポート (2014 年 8 月 27 日)

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。その後は、米長期債利回りが上昇したことなどを材料に、ドル買い・円売りの動きとなり、ドル円・クロス円は小動きながら上昇する動きとなった。しかし、上値は限定的で、終盤まで上値の重い展開が続いた。ユーロは、ECB が来週の政策委員会で新たな措置を打ち出す公算は小さいと、関係筋の話が報じられたことを受けて、主要通貨に対して上昇する動きとなった。しかし、上値は限定的となった。

2014/ 8/27 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	103.92	104.17	103.89
EUR/JPY	136.99	137.15	136.81
GBP/JPY	172.19	172.35	172.09
AUD/JPY	96.94	97.03	96.84
EUR/USD	1.3189	1.3190	1.3153

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	103.96	103.87
EUR/JPY	137.06	136.93
GBP/JPY	172.54	172.08
AUD/JPY	97.14	96.91
EUR/USD	1.3188	1.3174

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15534.82	+13.60
ハンセン指数	24918.75	-155.75
上海総合	2209.47	+2.36
韓国総合指数	2074.93	+6.63
豪ASX200	5651.18	+13.56
インドSENSEX指数	26560.15	+117.34
シンガポールST指数	3341.46	+18.44

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6830.66	+7.90
仏CAC40	4395.26	+1.85
独DAX	9569.71	-18.44
ST欧州600	343.33	+0.37
西IBEX35指数	10837.40	+10.50
伊FTSE MIB指数	20763.14	+117.60
南ア 全株指数	51610.42	-119.26

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	103.87	104.01	103.79
EUR/JPY	137.04	137.29	136.74
GBP/JPY	172.18	172.54	172.14
AUD/JPY	96.98	97.09	96.94
NZD/JPY	87.01	87.07	86.87
EUR/USD	1.3195	1.3210	1.3168
AUD/USD	0.9337	0.9352	0.9329

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17122.01	+15.31
S&P500	2000.12	+0.10
NASDAQ	4569.62	-1.02
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15602.65	-16.56
ブラジルボルサ指数	45601.00	+136.25
ブラジルボベスパ指数	60950.57	+1129.12

8/28 経済指標スケジュール

10:00	【豪】7月HIA新築住宅販売
10:30	【中】7月工業利益
10:30	【豪】2Q民間設備投資
16:30	【スウェーデン】7月小売売上高
16:55	【独】8月失業率・8月失業者数
17:00	【欧】7月マネーサプライM3
17:30	【香港】7月小売売上高
18:00	【欧】8月消費者信頼感
18:00	【欧】8月サービス業信頼感
18:00	【欧】8月経済信頼感
18:00	【欧】8月鉱工業信頼感
18:00	【南ア】7月生産者物価指数
19:00	【英】8月CBI流通取引調査
21:00	【独】8月消費者物価指数
21:30	【米】2Q GDP
21:30	【米】2Q個人消費
21:30	【米】新規失業保険申請件数
21:30	【米】失業保険継続受給者数
21:30	【カナダ】2Q経常収支
23:00	【米】7月中古住宅販売成約
0:00	【米】8月カンザスシティ連銀製造業活動指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1283.40	-1.80
NY 原油	93.88	+0.02
CMEコーン	365.00	+0.00
CBOT 大豆	1023.75	-4.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.51%	0.49%
3年債	0.95%	0.96%
5年債	1.64%	1.66%
7年債	2.04%	2.07%
10年債	2.36%	2.39%
30年債	3.10%	3.16%

8/28 主要会議・講演・その他予定

・米7年債入札

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 103.89 ユーロ/円 136.97 ユーロ/ドル 1.3184

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6828.57	+5.81	ダウ INDEX FUTURE	17111	+14
仏 CAC40	4386.54	-6.87	S&P500 FUTURE	1999.20	+0.60
独 DAX	9575.02	-13.13	NASDAQ FUTURE	4074.00	+1.75

(出所: SBILM)

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

7月メキシコ貿易収支 -9億7990万USD (予想 -8億2000万USD・前回 4億2370万USD)



(出所: ブルームバーグ)

◀ NY 外国為替市場 序盤 ▶

序盤の外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、新たな手掛かり材料に乏しい中、最近の円安ドル高傾向を受けて、一旦利益を確定する円買い・ドル売りが先行した。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	4574.86	+4.22
ナスダック	17133.00	+26.30

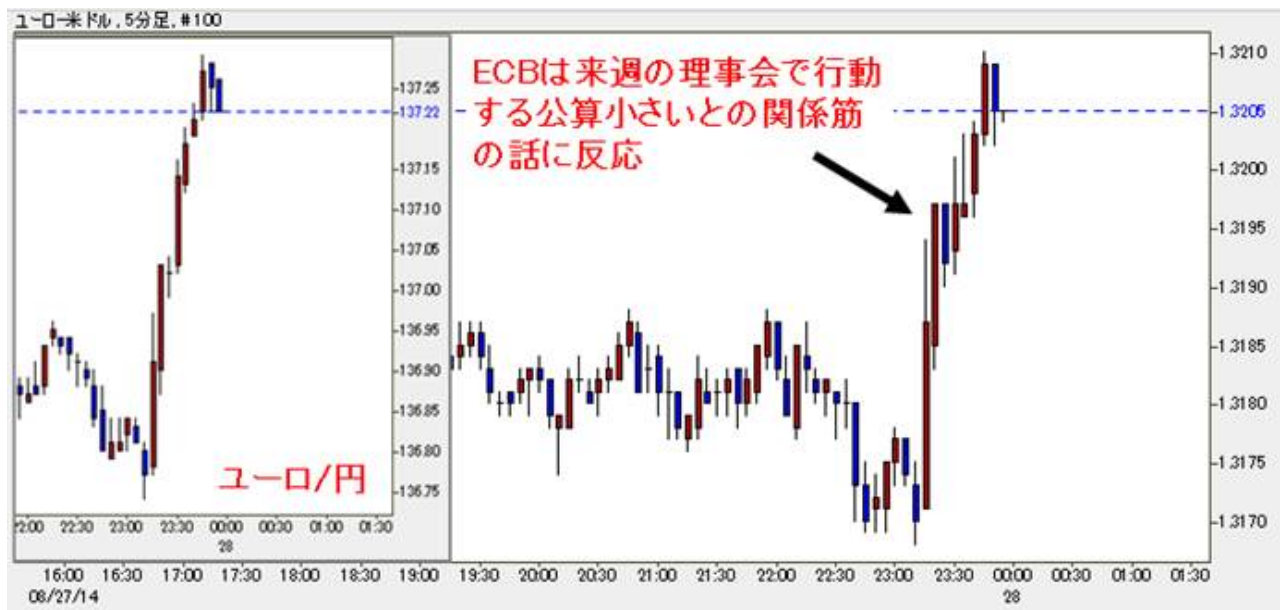
(出所:SBILM)

23 : 25

ECB は来週の理事会で行動する公算小さい～関係筋

8 月の ECB 総裁の発言でもインフレに関する発言が多くあったが、短期的にユーロ圏がデフレにかなり近付いている兆候が心配されていることから、8 月のインフレ統計 (17 日) を見極めたいとの思惑から、今回行動する可能性は低いという話につながったのか。

前週の米ジャクソンホールでのドラギ ECB 総裁のハト派発言を受けて、ECB の追加緩和観測が高まっていたことなどを背景に、EUR は最近やや軟調な動きが続いていたこともあり、その反動で EUR 買いとなった。



(出所:ネットダニアー)

23 : 30

◀EIA 米週間在庫統計▶

原油在庫・・・207 万バレル減少
ガソリン在庫・・・96 万バレル減少
留出油在庫・・・125 万バレル増加

23 : 40

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、ダウ平均や S&P500 が史上最高値圏にあるのを背景に、当面の利益を確定する売りが先行した。一方、宝飾品大手の 5-7 月期決算が市場予想を上回ったことを背景に、米個人消費改善を期待して小売り銘柄を買う動きも出ており、序盤から主要株価はもみ合いの展開が続いている。

《 経済指標のポイント 》

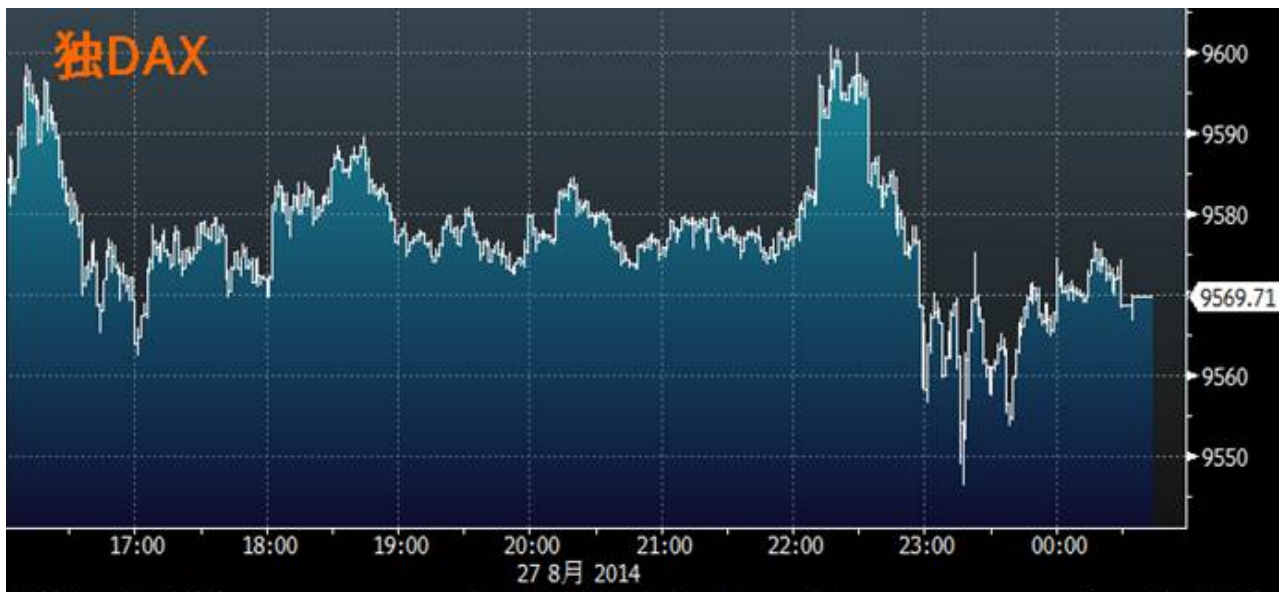
MBA（全米抵当貸付銀行協会）の住宅ローン申請指数は、前週比+2.8%となり、2週連続で上昇となった。借り換え申請が増えたほか、購入も増加した。借り換え指数は+2.8%、購入指数は+2.6%と7月以来のプラスに転じた。申請全体に占める借り換えの割合は55.7%（前週55.1%）と、3月半ば以来の高水準となった。30年固定金利型の住宅ローン金利は4.28%（前週4.29%）、15年固定金利型は3.47%（前週3.44%）となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6830.66	+7.90
仏 CAC40	4395.26	+1.85
独 DAX	9569.71	-18.44
ストック欧州 600 指数	343.33	+0.37
ユーロファースト 300 指数	1378.19	+1.36
スペイン IBEX35 指数	10837.40	+10.50
イタリア FTSE MIB 指数	20763.14	+117.60
南ア アフリカ全株指数	51610.42	-119.26

（出所：SBILM）

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。序盤から方向感に乏しく、売り買いが交錯する動きとなった。ECBによる追加緩和への期待が支援材料となる一方、ドイツの経済指標の悪化を嫌気した売りもみられた。FT100や仏CAC40は小幅高となったものの、独DAXは小幅安となった。



（出所：ブルームバーグ）

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17120.25 (+13.55)、S&P500 2000.40 (+0.38) ナスダック 4573.06 (+2.43)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ECBが追加金融緩和に踏み切るとの観測を背景に、欧州市場でユーロ圏各国の国債利回りの低下が続いたことから、相対的に利回りが高い米国債に資金が流入する動きが強まり、長期債を中心に買いが先行した。ただ、ウクライナ情勢の先行き不透明感から逃避的な買いもあり、上げ幅は限定的となった。

午前の利回りは、30年債が3.14%（前日3.16%）、10年債が2.38%（2.40%）、7年債が2.05%（2.08%）、5年債が1.64%（1.66%）、3年債が0.95%（0.96%）、2年債が0.51%（0.49%）。

《欧州のポイント》

①トルコ中央銀行は、主要政策金利である1週間物レポ金利を8.25%に据え置いたものの、上限金利である翌日物貸出金利を0.75ポイント引き下げ11.25%とした。また、下限金利の翌日物借入金利は7.50%で据え置かれた。市場予想は各金利据え置きが予想されていたが、利下げは予想外となった。

②イタリアのパドアン経済・財務相は、GDP成長率見通しを下方修正すべきと述べた。マーケットでは、イタリアの今年のGDPは横ばい、もしくは小幅なプラスになるとの見方が優勢となっている。一方、政府は4月時点で、2014年のGDPが+0.8%との見通しを示していた。

③トルコのエルドアン次期大統領は、ダウトオール次期首相による新内閣が29日に発表されると明らかにした。エルドアン氏は与党支持者らに対し、「ダウトオール氏に明日組閣するよう指示し、新内閣は29日に発表される」と述べた。

④9月のGfK独消費者信頼感指数は、8.6と市場予想の9.0を下回り、前月の8.9から低下し、1年半ぶりに低下となった。また、低下幅は3年強ぶりの大きさとなった。GfKのアナリストは「イラク、イスラエル、ウクライナ東部の状況が緊迫化し、ロシアでの制裁の影響が次第に顕著になったため、極めて楽観的だった国内の経済見通しが圧迫された」と指摘。ロシアに対する厳しい制裁措置が既に輸出を押し下げており、これが独経済にとっての本格的なリスクになる可能性があるとの見方を示した。

⑤スウェーデンの国立経済調査研究所は、6月時点で2014年経済成長率を2.2%、2015年を3%と予想していたが、今回2014年を1.8%、2015年を3.1%に下方修正した。今年の消費者物価は、前年比横ばいにとどまり、2015年は1.1%上昇すると見通している。6月時点では2014年が-0.1%、2015年が+1.1%としていた。

⑥8月のイタリア消費者信頼感指数は101.9で、7月の104.4から低下し3月以来の低水準となった。消費者信頼感指数を構成するすべての項目が悪化となり、経済情勢の悪化を裏付ける結果となった。第2・四半期のGDPは前期比-0.2%となり、第1・四半期に続きマイナス成長となりリセッション入りした。

2:00

《米財務省5年債入札》

最高落札利回り・・・1.646%（前回 1.720%）
 最低落札利回り・・・1.530%（前回 1.609%）
 最高利回り落札比率・・・13.63%（前回 28.92%）
 応札倍率・・・2.81倍（前回 2.81倍）

3:40

NY金は、中心限月が前日比1.80ドル安の1オンス＝1283.40ドルで取引を終了した。

4:10

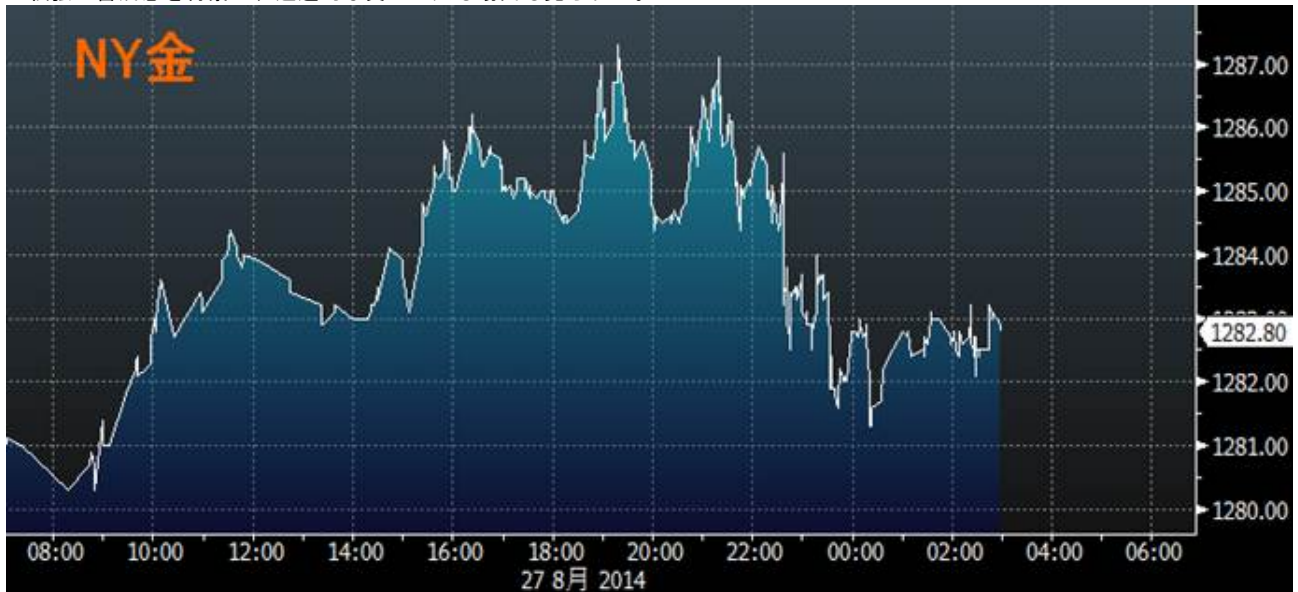
NY原油は、中心限月が前日比0.02ドル高の1バレル＝93.88ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1283.40	-1.80
NY 原油	93.88	+0.02

（出所：SBILM）

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、米国株が最高値圏まで上昇していることから、安全資産とされる金を売る動きが先行した。ただ、ウクライナ情勢への根強い警戒感を背景に、逃避的な買いが入る場面も見られた。



＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、米石油在庫統計で、原油在庫が市場の予想以上に減ったことから需給の緩みへの懸念が後退し、買いが優勢となった。一方、WTI 原油の引き渡し地点となる米オクラホマ州クッシングの在庫が増加したことが圧迫要因となった。



主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17122.01	+15.31	17134.60	170.90.61
S&P500 種	2000.12	+0.10	2002.14	1996.20
ナスダック	4569.62	-1.02	4575.81	4561.84

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、ダウ平均や S&P500 が史上最高値圏で推移していることを受けて、一旦利益を確定する売りが先行するなど、序盤から主要株価は上値の重い動きとなった。終盤には一時下げ幅を拡大する動きも見られたものの、値動きは限定的となった。ダウ平均株価は、序盤に堅調な動きとなったものの、やや上値は限定的となり、その後は終盤まで上値の重い展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	103.87	104.01	103.79
EUR/JPY	137.04	137.29	136.74
GBP/JPY	172.18	172.54	172.14
AUD/JPY	96.98	97.09	96.94
NZD/JPY	87.01	87.07	86.87
EUR/USD	1.3195	1.3210	1.3168
AUD/USD	0.9337	0.9352	0.9329

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。その後は値を戻す動きも見られたものの、上値の重い動きとなった。ユーロは、来週の ECB 理事会で、追加緩和が決定される可能性は低いとの関係者の発言を受けて、一時上昇する場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。